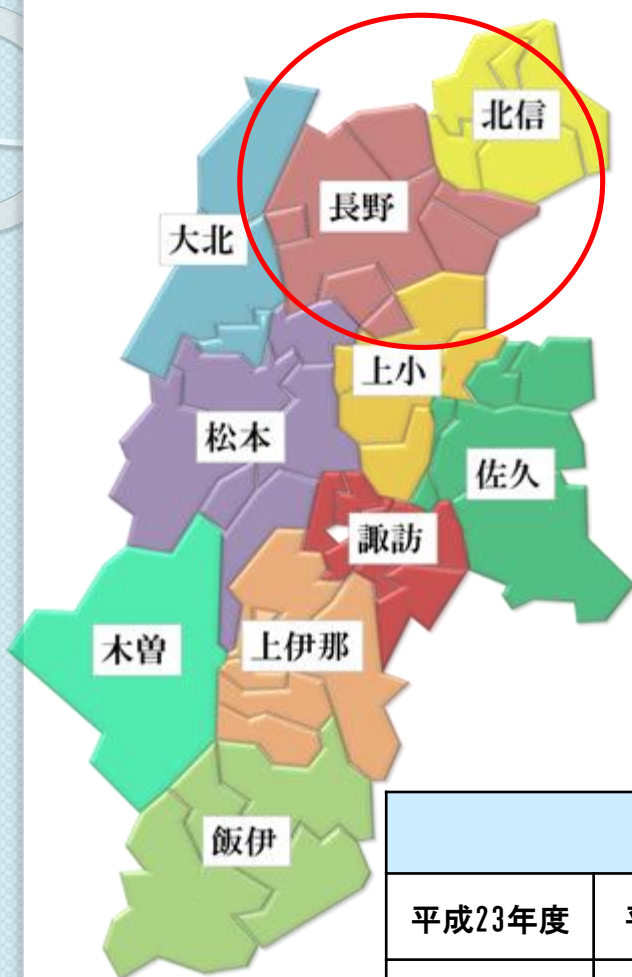




薬局カウンター実習実施報告

(株)モリキ オワリベ象山屋薬局
上松 肇

オワリベ象山屋薬局について



- ・ 長野県長野市郊外にあるドラッグストア併設型の薬局である。
- ・ チェーンドラッグストアの利点を生かし、近隣店舗協力のもと実践的実習を実施している。
- ・ 平成23年度より長野市薬剤師会、北信薬剤師会、更埴薬剤師会より薬局カウンター実習の場として実習生の受け入れを行っており、令和4年度までに計56名の実習を実施。

薬局カウンター実習 実施実績					
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
2名	5名	2名	5名	3名	6名
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成4年度
11名	6名	8名	1名	3名	4名

薬局カウンター実習の背景

- ◆ 対人業務の更なる充実としてセルフケア・セルフメディケーションの支援等健康サポート業務が求められている。
- ◆ 薬局実習の特徴である薬局カウンター実習は、大学で扱うことの少ないOTC医薬品や介護用品など健康サポートの知識を学ぶ場となっている。
- ◆ 健康サポートを行える薬剤師を育成するため実務実習で薬局カウンター実習は多くの時間を割くカリキュラムになっている。

薬局カウンター実習の課題

- ◆ OTC医薬品の商品取扱数が少ない薬局が多い。
- ◆ 指導薬剤師側のOTC医薬品販売等に対する経験が少なく、苦慮している。
- ◆ 具体的なスケジュールがなく、実習の計画を立てにくい。実習時間を確保できない。
- ◆ 効果的かつ効率的に実習生の実力向上につながる指導ができる指導者が少ない。
- ◆ 指導用マニュアルは販売されているが、薬局カウンター実習においてうまく取り扱えない。



実際には、何を行ってよいのか分からず、
実習を行っていない薬局が多数ある。

課題解決としての取組み

- ◆ 指導薬剤師が実習を行いやすいように、薬局カウンター実習用ツールの作成。

実習資料を揃え、事前準備における指導薬剤師への負担軽減

指導薬剤師のOTC販売経験に関係なく、一定レベルの指導を行える内容

- ◆ 実習は服用薬チェックや相互作用、医療用医薬品・病態症例知識が身に付き、応用できる実習後半に実施。
- ◆ 当薬局において地域の薬剤師会と連携し、依頼に応じ実践型の薬局カウンター実習の提供を行う。

薬局カウンター実習の流れ

座学

<座学講義の内容>

- ・ 態度と接遇
- ・ OTC販売区分について
- ・ 副作用の種類について
- ・ ヒアリング事項 など



ロールプレイング

<ロールプレイングの内容>

課題を出し実習生に資料を用いて商品選択、なぜその商品を選んだか説明をしてもらう。



店頭実習

<店頭実習の内容>

実際に店頭に立ちお客様の症状ヒアリングから商品選択までを行っていく
※指導薬剤師はすぐにサポートできる距離で待機

準備資料

事前座学用資料

- ・ 態度と接遇について
店頭実習での接客に必要なスキルを身につける
 - ・ セルフメディケーションに必要なヒアリング事項
 - ・ 販売区分について
要指導・第1類・指定第2類・第2類・第3類医薬品の違いを学習
 - ・ 副作用の種類について
-

主な成分及び注意事項一覧

- ・ 配合頻度の高い成分及び主な副作用・注意事項を記載した資料
事前配布し基本として実習生自身に市販薬成分については調べてもらう
-

ロールプレイング用演習問題

- ・ 感冒成分・胃腸薬を軸とした問題
実地実習で需要の多い成分を主に行い短期間でも販売体験に結び付ける
演習問題では商品を自由に選択させるが背景から避けるべき成分を考えさせる
内容とする
-

ロールプレイングに関して

- **指定した商品**に配合される成分の違いについて調べてもらい発表してもらう。
- **補足説明や販売実例**を通し、配合成分で併用薬・年齢等で服用きる人、できない人などがあることを指導。

例①：プソイドエフェドリン

高血圧症・心臓病・甲状腺機能障害・糖尿病・
前立腺肥大による排尿困難

例②：タンニン酸アルブミン

牛乳アレルギーのある人 ※**服用しないことの項目**

- 課題を課し、大学及び実習期間中に得た知識を生かし**自由に商品を選んでもらう**。
- 指導薬剤師が客役となり症例検討や相互作用等複合的に考えさせる内容の例を挙げ実践力を養う

ロールプレイングに関して

《出題例》

60歳女性

「昨日から熱が38℃あって、咳も出ます」
とAさんが風邪薬を求めて来局。
併用薬：ノルバスク

《指導内容》

併用薬から高血圧症と考えられるため、高血圧症は服用しないこととなっているプソイドエフェドリンは配合製品服用できない。

代替にメチルエフェドリンや交感神経刺激成分の含まれない医薬品を選択する。

店頭実習実例

実例① 60代女性

花粉症のため鼻水が出ます。お勧めの鼻炎薬はありますか？

併用薬：高血圧症の薬

<実習生は・・・>

併用薬チェックを行い、高血圧の薬を飲んでいたため、プソイドエフェドリンの入っていないフェキソフェナジンのみのアレグラを選択した。

【アレグラ配合成分】
フェキソフェナジン

店頭実習実例

実例②

80代 女性

肌の乾燥で全身に痒みがあります。何か効く薬で良いものはありますか？

<実習生は・・・>

全身に使うことからステロイド剤ではなく抗ヒスタミン剤であるムヒソフトGXを選択した。

【ムヒソフトGX配合成分】

ジフェンヒドラミン塩酸塩

パンテノール（プロビタミンB5）

トコフェロール酢酸エステル

グリチルレチン酸

店頭実習実例

実例②

実習生対応後指導薬剤師から下記内容の指導を併せて行った。

- 乾燥によるものでありヘパリン類似物質の配合した成分も選択肢としてある。
- 皮膚症状が改善しない場合は皮膚科への受診勧奨も行う必要がある。

これまで実習を行った学生の感想



《実習を行って学べたこと》

- ・コミュニケーションをとることの大切さを学んだ
- ・実際に医薬品を選択する責任というものを学んだ
- ・成分により使用できる人とできない人がいること
- ・今まで知らなかったOTC医薬品の知識を学べた
- ・かかりつけ薬剤師の必要性を学んだ
- ・OTC医薬品のメリット、デメリットを学べた

《学生の实習後の感想》

- ・一般用医薬品には多くの知識が必要だと思った
- ・販売での薬剤師の必要性を感じた
- ・医療用と一般用の飲み合わせの確認することの重要性を感じた
- ・血液検査結果も理解できるようにしなければならないと感じた
- ・OTC医薬品に対して興味を持った

指導薬剤師としての考察

- ◆ 指導に際して必用資料・演習問題の設定があることで、準備への負担が軽減している。
- ◆ 同一内容により指導内容に偏りがなく、質の高い実習が継続できている。
- ◆ 実習生においてはOTC医薬品に対する考え方が変わり、販売することへの心境の変化があった。
- ◆ 委託実習に関しては概ね5日程度が多かったが、短期間で実習生が積極的に接客販売を行えるレベルに到達した。

まとめ及び今後の展望

- ◆ 実習に共通のツールを用いる事で、指導内容の統一化により経験の少ない薬剤師においても負担軽減ができると考えられる。
- ◆ 学生や指導薬剤師の意見を反映しながら、継続的に資料の内容を見直すことで、OTC医薬品やセルフメディケーションに関し、分かりやすく質の高い指導を行っていけるようにしたい。
- ◆ 今後も各薬剤師会と連携し、OTC医薬品取り扱い機会少ない薬局の実習生へも充実した実習を行い、OTC医薬品販売にも対応できる薬剤師の育成に尽力したい。

最後に実習生に伝えていること

- ◆ 薬剤師は医療用医薬品のみならず要指導医薬品・1～3類医薬品のすべてのOTC医薬品取り扱い扱えます。
- ◆ OTC医薬品は処方箋がなく薬剤師自らが自身の知識を生かし責任をもってお客さんの選択に対し助言をする。
- ◆ 医療用医薬品知識・様々な症例知識・コミュニケーション能力すべてが求められる。
- ◆ 患者さんお客さんは薬のエキスパートとして薬剤師を見ている。



ご清聴ありがとうございました